

山行報告書

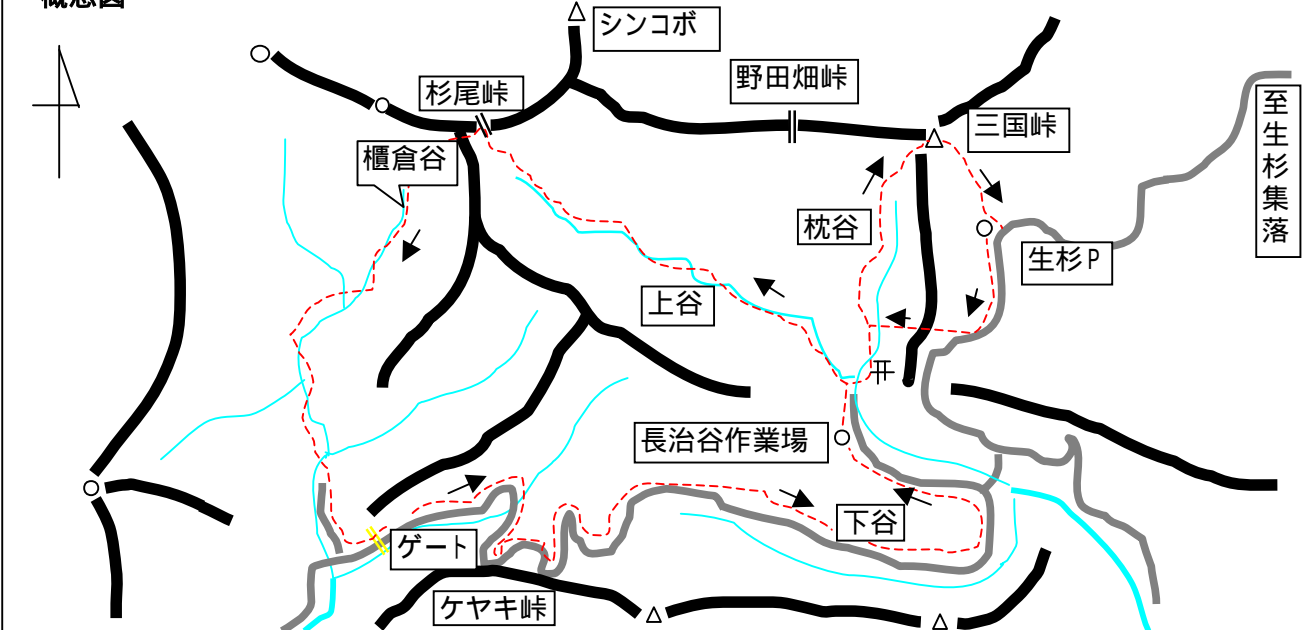
報告書作成

2005年11月23日

山名 [山域]	京都 北山 芦生の森	目的と方法	京都大学演習林の紅葉観賞
登山期間	10月29日(土) ~ 30日(金)	山行形態	前夜発1泊2日テント泊
参加人数	5人		

行動記録 10月28日(金)旧岡崎市民病院P20:00発 == 岡崎IC == 養老SA A21:00 ~ 21:15 == 関が原IC == 木之本22:00 == 道の駅「くちき新本陣」23:20 ~ 23:25 == 生杉P0:15テント泊
 10月29日(土)起床7:00 8:15発 --- 地蔵峠9:00 ~ 9:05 --- 中山神社9:20 --- 野田畑湿原9:30 --- 杉尾峠11:20 ~ 11:45 --- 林道杉尾・地蔵線上谷入口12:05 --- (櫃倉谷) --- 坂谷出合14:33 --- 横山峠15:00 --- 林道櫃倉・内杉線出合15:50 --- 芦生演習林入口ゲート16:00 テント泊(就寝20:10)
 10月30日(日)起床5:00 7:05発 --- (林道内杉線) --- ケヤキ峠9:10 --- (下谷林道) --- 長治谷作業小屋11:05 ~ 11:45 --- 三国峠分岐12:05 --- 三国峠13:00 ~ 13:20 --- 生杉P13:50 ~ 14:05 == くつき 「てんくう」15:40 ~ 16:35 == 木之本IC 17:50 == 養老SA 18:30 ~ 19:35 == 岡崎IC 20:35 == 旧市民病院P20:40

概念図



日誌 28日集合時間にSが遅れたため、通勤割引を使えなかった。申し訳ない。てんきはイマイチだが、まあ何時もの事。養老SAで食糧を買い込みナビに逆らって走ったりしながら何とか生杉集落へ。集落に入ると、あちこちに大きな鹿がうろろうしている。その数15頭以上。鹿にぶつからない様に走らなければならない有様。29日朝、小雨。昨日買った「焼き鯖寿司」がおいしい。テント撤収時に底が濡れているのを発見。カギ裂きが出来ている。(要補修)。8:15ゆるゆると地蔵峠に向かい出発。カッパ山行は気が重い。峠を越えて中山神社に下り、右折して(ここを左折すれば5分もしないで長治谷作業場がある)野田畑湿原を越え、杉尾峠へ。残念ながらガスのため展望は無い。少し登り、下って杉尾・地蔵線林道出合。ここには上谷入り口の標識有り。次は櫃倉谷へ降りるのだが、降り口がなかなか見つからない。林道を少し下ってから、降り口があり、なかなかの急坂。(もし間違っても、重荷を背負って登り返したくないと思った)そして入った櫃倉谷がなかなかの難路。地図上では実線の道になっているが、破線が適当と思われるほど。まるで幌尻みたいと言う私に、Rさん曰く、「幌尻より難しい」。自然を自然のままには良いのだが、まるで目印と言うものは無い。沢をあらへ、またこちらへと渡り返し、とうとうめんどくさくなって、じゃばじゃばと水の中を歩き出した。これが一番。次回は長靴で来よう。長いこと沢と付き合い、穏やかに開けたところが坂谷出合。ここから横山峠へ一登りして、櫃倉・内杉線の林道と出合う。しばらく下って右へ行けば芦生、ここを左にとって、少しで演習林入口のゲート。秋の日暮れは早い。ましてあまり天気が良くないので、もう薄暗い。きょうのテン場はこと決めて、ゲートを越した林道脇にテントを張る。夕食は食当のKさんが腕を振るった「きりたんぼアンドきのこ鍋」だ。話は弾み山の夜は更けてゆく。30日晴。やれやれ、今日は素晴らしい景色に出会えそう。それにしても林道歩きは長くて辛い。そろそろ飽きてきた頃、眺めも良くなり、また、沢筋には巨大樹が現われ、ついつい足が止まる。とうとう沢に下りて、あちこち歩き回る人、写真に夢中になる人など、てんでに動き出し、皆、芦生にどっぷりと浸かってしまう。堰も無い川を魚が泳ぎ、おたまじゃくしを狙ってイモリが水底にじっとしている。枯葉のような蛙がいたり、巨大なみみずが驚かされたり、頂上を目指して息を切らすのではなく、静かに森と沢を巡る。これぞ癒しの森。立ち去りがたいが長治谷作業場に向かい、そこで昼食。ここは珍しく開けた場所で、キャンプ場もある。ここから中山神社前を通り、枕谷に入る。ここも苔むした穏やかな谷で、谷を詰めて急坂を三国峠に登る。ここが一面のイワカガミの群落で、春にはさぞや!と思わせる。三国峠から生杉Pへの下りもかなりの急坂だが、また一面のイワカガミで気にもならない。また春にはぜひ訪れたいものだ。